

<入学式にて・・・>

雪の蔵王を背景に満開の桜が映え、秋保の郷に春の香りが満ち溢れる、この良き日に本校父母教師会会長様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席と、保護者の皆様のご列席のもと、第72回入学式を挙行できますこと、心から厚く御礼申し上げます。28名の新入生の皆さん、並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。未来への希望と可能性にあふれる新入生を、本日迎えることができましたことは、私ども教職員にとっても大きな喜びです。

さて、新入生の皆さん、秋保中学校の真新しい制服の着心地はどうですか。そして今ここに中学生として座っている感想はどうですか。こうして座っている皆さんの表情は、とても凛々しく輝いて見えます。皆さんは、晴れて秋保中学校の一員となりました。秋保中学校で学んだ生徒は、開校から昨年度までで、総勢6039名になります。秋保中学校は、卒業生や地域の皆さんから厚い信頼と、大きな期待が寄せられている、歴史と伝統を持った学校です。

皆さん一人ひとりの胸の中には、これから始まる中学校生活に、「よし、頑張るぞ」という大きな決意と、新しい環境に対して、「やれるかな」という多少の不安が入り交じっているものと思います。でも、大丈夫です。心配はいりません。皆さんの前に座っている先生方や先輩達はみんな皆さんの応援していきます。わからないこと困ったときには、遠慮しないで積極的に何でも相談してください。

これから始まる毎日は、皆さんにとって新鮮で、小学校時代とは違った面白さや楽しさがあることでしょう。また、中学校の三年間というのは、子供から大人へと心も身体も大きく成長する大切な時期です。この3年間の頑張りが、皆さんの将来を支える基礎となります。勉強はもちろん、部活動、委員会活動、学校行事等の中で、自らを鍛え、自信を持って様々なことにチャレンジしていきましょう。それと同時に、集団生活についても学びます。規律を守り、お互いが助け合い、協力し、喜びや悲しみを分かち合うことがどんなに大切で尊いものかということも、学校生活を通して学んで欲しいと思います。今日ここに集まった皆さんは中学校三年間、共に過ごす大切な仲間です。そこで生まれる友情はこれからの皆さんにとって、かけがえのない大きな力になることでしょう。たくさん友達を作って友情を育んでいきましょう。

今日は、希望と喜びでいっぱいの方に中学校生活を充実させる二つのポイントをお話しします。一つ目は、「目標を持つこと」です。If you can dream it, you can do it.「あきらめなければ実現できる。」これは有名なディズニーランドを作ったウォルトディズニーの言葉です。この逆を返せば目標を持たなければ何も実現できないということです。目標はいくつあってもかまいません。小さくてもいいし、途中で変更してもかまいません。漢字を毎日一つでも覚える、自分からあいさつをする、家で教科書を必ず毎日開くなど普段の生活の中で常に目標を持ってください。そうすれば少しずつ必ず前進できるはずです。

二つ目は「我以外皆我が師なり」これは小説家吉川英治の言葉です。人は様々な個性や能力を持っていて、多様な存在です。自分以外の一人ひとりが、自分と同じように大切な存在であり、自分とは違うものをもっています。その違いからは多くのことを学ぶことができます。うらやましいと思う部分、自分もそうなりたいと思う部分、中にはどうしてそうするのかなど感じる部分が見えてしまうこともあるかもしれません。でも、その一つ一つが自分を成長させてくれる大切な経験となります。人とのつきあいは、お互いを成長させる大切なものであると思えるようになってください。そうすればクラスで、いじめや差別など、嫌な思いをする人が一人もいなくなるはずです。人を傷つけて良い権利はどんな理由でも絶対に存在しないのです。お互いを大切にし、成長し合える仲間として、全員が笑顔で明るく生活できるよう、皆さんに大きな期待を寄せています。

先日行われた平昌オリンピック。見事金メダルを取ったチームパシュートの4人。私たちに大きな感動を与えてくれました。しかしその陰にはいろいろな困難を乗り越えて諦めずに目標を持ち続けて練習に取り組んだ血のにじむような努力と、お互いの欠点をカバーし合い尊重し合ったチームの力がありませんでした。中学校3年間1096日。目標を持ち続けるかどうか、お互いをみとめあう仲間意識があるかでその3年後の結果は大きく変わります。皆さんの成長をしっかりと見守りたいと思います。

終わりにになりますが、保護者の皆様、これまでお子様を育ててきた12年間を振り返ると、時には体調の悪いとき、機嫌の悪いとき、親の言うことを聞かないときなど、日夜心配なことが多々あったことと思います。しかし、本日、成長したお子様の晴れ姿を見て、喜びもまた格別であると存じます。中学校3年間は体も心も大きく成長する時期です。大人へと成長する過程で、親離れしようともがき、苦しみ、悩むこともあるかと思いますが、我々教職員も保護者の皆様と同じように子供たちに真剣に向き合い、自立に向けた子供たちの成長を第一に日々取り組んで参ります。保護者の皆様そして地域の皆様の期待と信頼に応えられるよう、教職員心を一つにして責任を持ってお預かりいたします。どうかこの間、本校の教育活動に深いご理解と力強いご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしまして、式辞といたします。

平成30年4月10日 仙台市立秋保中学校 校長 千葉 慎